

海軍炭鉱本部庁舎の新築・移転(下) 海軍炭鉱・国鉄炭鉱の遺跡群(17)

前回、前々回に引き続き、志免町にあった海軍炭鉱の庁舎新築関係の図面を紹介いたします。以下、図面はJACAR（アジア歴史資料センター）Ref:C04016865400、海燃採第304号庁舎新営の件、公文備考 K 土木建築 巻20止（防衛省防衛研究所）から、分割撮影された部分ではないでいます。

図面は「海軍燃料廠採炭部庁舎新営工事之図（縮尺百分之一）」（昭和四年五月六日調製）で、今回紹介するのは一階と二階、それに地階を上から見た形で描いた図（平面図）です（ただし、一階部分

のみ掲載）。それぞれ階上平面図・階下平面図・地下平面図と呼ばれています。

この平面図により、庁舎中央には一〇メートル×九メートルの中庭があることがわかりました。一階の各室は口の字型に配置されています。図下側の正面玄関を入ると、右に第一応接室、左に第二応接室が対称的にあります。そのさらに左は宿直室です。

玄関から広間（床板張）を経て、中庭をはさんで右に会計課、左に業務課があります（それぞれ床はリノリウム張）。廊下は業務課の場合は外窓側に、会計課

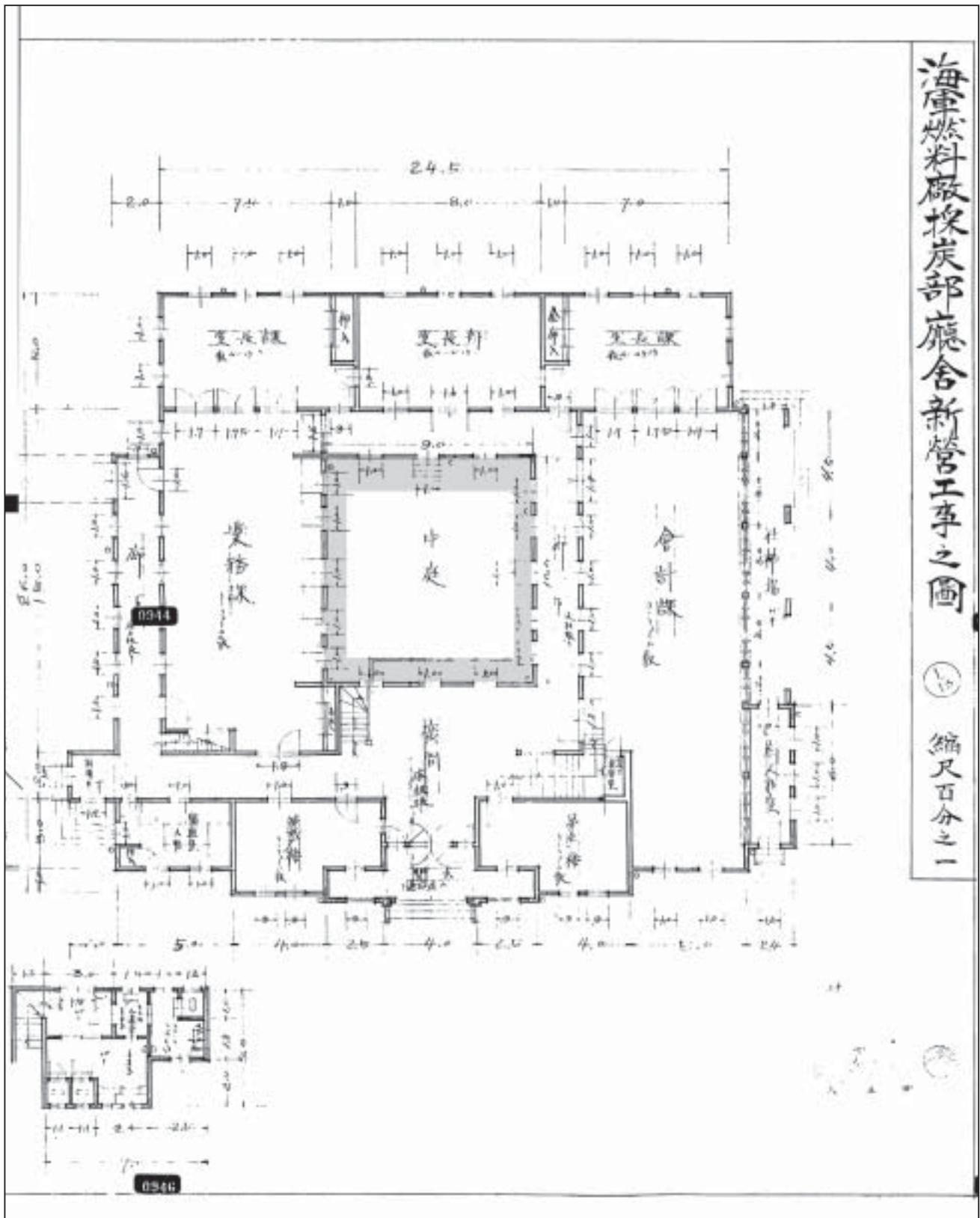
の場合は中庭に面した内窓側にあります。会計課の外窓側には支払場があり、この支払場に外部から入るための入口が玄関とは別にあるはずですが、図からはよくわかりません。会計課の図左下には金庫室が見えます。

廊下を進んだ突き当たりには中央に部長室、右に会計課長室、左に業務課長室がありますが、会計課長室には「金庫入」という特別なスペースも設けられています。

二階には暗室と、リノリウム張の会議室が置かれていたことがわかりました。

海軍燃料廠採炭部庁舎新営工事之図

縮尺百分之一



海軍燃料廠採炭部庁舎新営工事之図（1/100）